認知症になっても住み慣れたこの町で！

9月は世界アルツハイマー月間

アルツハイマー病は一方通行で進行していってしまう脳疾患です。9月は世界アルツハイマー月間として、本人や家族の生活をよりよくすることを目的に世界各国で啓発活動が行われています。

高齢社会の今、改めてアルツハイマー病・認知症について、理解を深めてください。

▶問い合わせ先
福祉課包括支援班　☎43-5111（内線554）

▼認知症とは？

認知症とは、脳の病気によって獲得していた複数の能力が失われ、それが長時間（おおむね6ヵ月以上）続き、社会活動の水準が低下する状態といわれています。

▼涌谷町の現状・高齢化率

涌谷町の人口は16728人。65歳以上の割合を示す高齢化率は年々上昇しており、現在33・2%、つまり約3人に1人が65歳以上となります。これは宮城県35市町村の中で上から13位（平成29年3月末現在）となります。

▼涌谷町と認知症

厚生労働省によると、認知症者の推計値では、65歳以上の15%が認知症とされています。また認知症の予備軍といわれる方々は65歳以上の13%となっています。これを涌谷町に当てはめると、約1500人が「認知症とその予備軍」という計算になります。

▼なぜ早期発見、早期受診が大切？

「認知症は治らないから医療機関にかかっても仕方がない」という考えは間違いです。

認知症の場合、早期発見・早期治療で進行を遅らせたり、症状を軽くできることもあります。

また、他の疾患でも認知症の症状を示すことがあり、適切な治療で症状が劇的によくなる場合もあるため、早期の受診が大切です。

広告

涌谷町シルバー人材センターからのお知らせ

涌谷町に居住する健康で意欲のある60歳以上の方が登録しております。平成29年度もそれぞれの方の技術や体力に合わせてがんばってまいりますので、よろしくお願いいたします。

【入会を希望される方について】
随時入会説明をいたしますので、事務所へお越しください。

【仕事の依頼について】
電話か事務所に直接お越しください。仕事の内容・条件・予算をお伺いし、まずは、お見積りいたします。

▶問い合わせ先
（公社）涌谷町シルバー人材センター　☎44-1710

広報わくやに広告を掲載しませんか？

「広報わくや」に掲載する広告を募集します。

広告枠はこの枠と同じ**縦4.2cm、横8.5cm**で、1枠あたりの掲載料は5,000円になります。掲載希望の方はご連絡ください。

企画財政課　企画班　☎43－2112

認知症の種類	原　因	症　状
アルツハイマー型認知症	脳の神経細胞が変性し、脳全体が萎縮することによりおこる	記憶障害、見当識障害、不安、うつ、妄想 例：最近のことをすぐに忘れてしまう、時間・日にち・場所の感覚が不確か、物盗られ妄想
脳血管性認知症	脳梗塞や脳出血などのために、神経の細胞に十分な栄養や酸素がいきわたらなくなり、脳細胞が死滅することによりおこる	症状は障害された脳の部位によって異なる 例：意欲低下、複雑な作業が難しくなる、排泄を失敗する、歩行障害、構音障害、
レビー小体型認知症	レビー小体というタンパク質が大脳皮質全体に出現することによりおこる	パーキンソン症状（動作緩慢、筋肉のこわばり、小刻み歩行など）、幻視、症状に変動が多い 例：実際には見えない人・動物・虫等が見えると訴える、歩き始めの一歩目が出にくい
前頭側頭型認知症	脳の前頭葉と側頭葉を中心に変性し壊れていくことによりおこる	社会性を失った自分本位な行動、言語障害、食行動の異常 例：万引き、会話が苦手、物の名前が出てこない、味覚の変化、異食、偏食

【涌谷町認知症Q&A】

Q、「物忘れが気になる…でも、どこに相談したらいいのだろう…？」

A、まずは、かかりつけ医に相談

できるだけ早くかかりつけ医や相談機関に相談しましょう。涌谷町国保病院には物忘れ外来もあります。

また、涌谷町町民医療福祉センター内の地域包括支援センターに相談窓口を設置しています。相談内容により、認知症専門医の紹介や認知症の方への接し方、介護サービスなどの情報を提供しています。病院受診につながらない、対応に苦慮している場合など、認知症初期集中支援チームの支援も受けられます。

Q、「気軽に認知症について話せる場所はないかなぁ…？」

A1、認知症カフェ～さくらカフェ～

認知症のご本人や介護している家族、地域の方が認知症について「話しができる」「学べる」「相談できる」認知症カフェ（さくらカフェ）を実施しています。

また、専門職による講話や介護予防体操などもあります。今年度は奇数月に実施予定ですが、詳細は、今後の広報わくやをご確認ください。

A2、認知症介護家族のつどい

認知症の方の介護をしている家族が、日頃の思いや悩みを語り、思いを共有したりすることができる場です。対応方法のアドバイスを受けることもできます。詳細は今後の広報をご覧ください。

Q、「認知症について勉強し、見守りに活かしたい！」

A、認知症サポーター養成講座

住み慣れた地域で暮らしていけるように、地域の人々が認知症の理解や対応について学び、認知症の本人やその家族を支えられるようにすることを目的に、認知症サポーター養成講座を実施しています。

認知症サポーターを1人でも増やし、安心して暮らせるまちを、みんなで作っていくことを目指すものです。現在、涌谷町には約850人の認知症サポーターがいます。認知症の本人やその家族の応援者になるために認知症サポーター養成講座を受講してみませんか？